



# シンポジウム

## 20世紀初期の音楽と舞踊 におけるジャポニスム・ オリエンタリズム —女性の表象と身体—

釘宮 貴子（名古屋大学大学院人文学研究科博士研究員）

「ウィーンで上演されたジャポニスムのオペラ・オペレッタに描かれた〈芸者〉」

李 二（名古屋大学大学院人文学研究科博士研究員）

「大正期に上演されたサロメ・ダンスの表象とオリエンタリズム」

山口 庸子（名古屋大学大学院人文学研究科准教授 ドイツ語圏文化学）

「モダンダンスの仮面舞踊におけるジャポニスムとジェンダー」

主催：科研費「1890年代から1930年代のドイツ・オーストリアにおける音楽のジャポニスム  
（若手研究: 21K12871 代表：釘宮貴子）

後援：名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ



日時：2022年11月5日（土）14:00-16:00

場所：名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ  
レクチャールーム（2F）

（地下鉄名城線 名古屋大学前下車 1番出口すぐ）

入場無料

お問い合わせ：釘宮貴子 takakokugimiya2020@gmail.com  
名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ  
grl@adm.nagoya-u.ac.jp

